

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 239

事務事業名	社会参加促進事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	障がい福祉課		
課長名	上新 康雄	内線	89-300
担当者名	本田 智也	内線	89-303

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020302	障がい者が暮らしやすいまちづくり
施策		障がい者の社会参加の促進
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	1	社会福祉総務費	
事業コード	050506,050512	障がい者理解促進研修啓発事業費,社会参加促進事業費	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	障がい者基本計画、障がい福祉計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	障害により社会参加が困難な者、及び障害者の社会参加活動に協力、支援を行おうとする者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	社会参加が妨げられている要因(情報獲得手段等)を取り除き、障害者の社会参加を促進する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	声の市政だより発行事業、要約筆記奉仕員養成事業、音訳ボランティア養成事業、手話奉仕員養成事業、障害者の社会参加促進啓発事業、自動車運転免許取得事業補助金、自動車改造費助成事業等、障害者の社会参加促進を目的とした各種事業を実施する。		
事業期間	昭和 53 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱、手話奉仕員養成事業運営要綱ほか		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 実施事業数	計画値	7	7	7	7	
		実績値	7	7	7		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 事業延べ利用者数	計画値	2,400	2,000	2,000	2,000	
		実績値	1,945	2,313	1,724		
		達成度	%	81.0%	115.7%	86.2%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,192	2,645	1,942	2,631	2,633	2,633	2,633	0
国庫支出金	1,001	1,227	769	1,250	894	894	894	
県支出金	500	613	384	625	447	447	447	
地方債								
その他								
一般財源	691	805	789	756	1,292	1,292	1,292	
② 人件費(千円)	2,937	1,995	1,653	2,013	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.36	0.26	0.23	0.27	奉仕員養成事業(手話・要約筆記・音ボラ)、自動車改造費助成等	同左	同左	
時間外勤務(時間)	38	15	15.25	25				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	5,129	4,640	3,595	4,644				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をされましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	H23年度から障害種別等に合わせた社会参加促進イベントを実施。毎年少しずつ来客数が増えてきたが、H27年度は健康福祉まつりの一部として開催した。難聴・中途失聴の当事者から、要約筆記の依頼が入るようになり、講演会や地区別ミーティングで実際に要約筆記がついた。
事業が抱える問題・課題等	社会参加促進イベントは関心のある人だけが参加する形式を見直し、より多くの人の目に触れる企画が必要。広報紙やホームページ等で、要約筆記奉仕員養成講座受講生の募集を行っているが、要約筆記制度自体の認知が進んでいないためか、受講生の数が横ばいで伸び悩んでいる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	障害者の社会参加促進のために必要な事業である。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	障害者総合支援法の地域生活支援事業として市町村が行なう事業であり、市の関与は必要である。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	平成27年度の社会参加促進イベントは平成27年11月に健康福祉祭りのの一部として実施した。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	予算規模は小さいが、障害者の社会参加促進の観点からは大変有効な事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	民間委託やボランティアが充分活用されている。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	自動車運転免許取得事業及び自動車改造助成事業の利用には、所得制限と助成額の上限を設けている。						

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	社会参加促進イベントは毎年内容を検討しながら継続する。地区別ミーティングなど定期的で開催される行事に手話通訳・要約筆記を定着させ、市民の目に触れることで認知度を上げていきたい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	大村市に在住する難聴者、中途失聴者への支援につながる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。